

県学校新聞コンクール



伝えたい人との絆

第72回県学校新聞コンクール(県NIE推進協議会、県高校文化連盟、大分合同新聞社主催)は、新聞部や生徒会などが発行する学校新聞を対象で、県内の中学校、高校8校から計112作品の応募があった。昨年12月8日に審査会があり、中学と高校の2部で9作品が入賞した。最優秀賞に選ばれた児童生徒代表のコメントと紙面を紹介する。



大分豊府新聞

代表・藤浪茜さん(2年、新聞部長)「顔写真」読者に「分かりやすく、面白い。読んでいて楽しい」と思ってもらえる新聞を目指しています。効果的な切り付けやレイアウトは、作成してきた内容を充実させて、より多くの人に楽しんでもらえるようにしていきたいです。



大分豊府高

【審査評】丁寧な取材が感じられる。生徒の生き生きとした姿が伝わる。校内にとどまらず社会に目を向けた取材。いい表情の写真も多い。記事、レイアウトともに文句なし。

最優秀賞

校報 暁雲

代表・愛宕峻介さん(3年、生徒会後期新聞部長)「顔写真」。「安岐中の生活を、知り、伝え、考え、楽しむ」をモットーに毎月発行しました。発行を通してより良い学校にしたいと新聞部全員が企画・取材・記事作成に頑張りました。来年度は創刊50周年を迎えます。安岐中の魅力をこれからも発信したいと思っています。



国東市安岐中

【審査評】生徒の様子や伝わる見出し、レイアウトが本格的。見やすい配置。読みやすく作っている。保護者や地域への情報発信ができていて、探求心を刺激するものになっている。

架け橋になると期待



生野京子・県NIE推進協議会 副会長(大分市賀来小中学校長)

入賞されました各校の皆さま、おめでとうございます。本年度の審査を通して感じたことは「人と人との絆」です。よりよい学校にしていきたい、よりよい社会をつくらしていきたい、そのためには、学校内外の人と人をつないでいくことが大切であると考え、発行者の意図がよく伝わってきました。特に本年度、高校の最優秀賞となった大分豊府新聞には生き生きとした表情の写真が多く、取材を受ける人に取材の意図や記者の思いがよく伝わっているのだと感じました。また、高校生らしく、「脱はんこ」や「中学校標準服」など社会性のあるテーマにも挑戦していました。中学校の最優秀賞の安岐中生徒会新聞では校内の活動だけでなく、地域にも目を向けたり、アンケート記事があったりと探求心が感じられる新聞となっていました。応募されたどの学校の新聞にも母校や地域への思いが詰まっています。これからは学校新聞づくりが生徒同士、保護者や地域、社会をつなぐ架け橋となることを期待します。

第72回県学校新聞コンクール 学校新聞部門 入賞作品

最優秀賞	国東市安岐中 生徒会新聞部「校報 暁雲」
中学校	優秀賞 ◆ 姫島中 広報部「やはず」
入選	◆ 大分市賀来小中 生徒会「児童生徒会新聞」
奨励賞	◆ 県立盲学校 中学部 波多野舜成「愛いっぱい新聞」
高校	最優秀賞 ◆ 大分豊府高 新聞部「大分豊府新聞」
優秀賞	◆ 大分上野丘高 新聞部「上野丘高新聞」
入選	◆ 別府鶴見丘高 新聞部「鶴見丘新聞」
奨励賞	◆ 佐伯鶴城高 新聞部「佐伯鶴城新聞」
	◆ 杵築高 新聞部「杵築だより」

審査員(敬称略)

道中聡	(県教委高校教育課指導主事)
生野京子	(県NIE推進協議会副会長、大分市賀来小中学校長)
田辺玲子	(日本新聞協会認定NIEアドバイザー、県教委日田教育事務所次長)
安部祥子	(県高校文化連盟新聞専門部専門委員長、大分上野丘高校教諭)
西裕一郎	(同常任委員、大分豊府高校指導教諭)
糸園良太郎	(同常任委員、別府鶴見丘高校教諭)
高野学	(大分合同新聞社編集局次長兼ニュース編集部長)



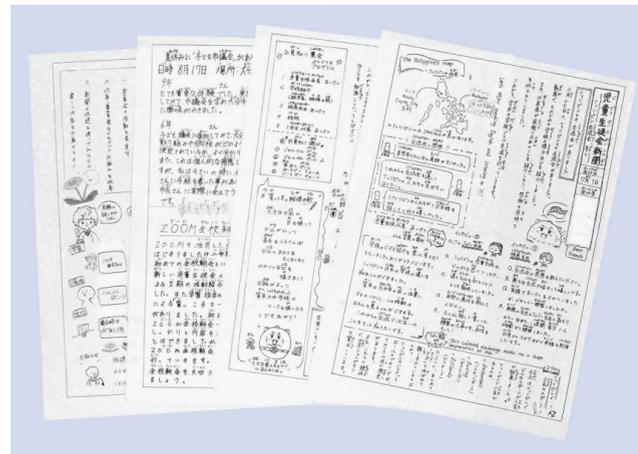
優秀賞

上野丘高新聞
大分上野丘高
やはず
姫島村 姫島中



入選

鶴見丘新聞
別府鶴見丘高
児童生徒会新聞
大分市賀来小中



honeycomb cafe
まちなかのくつろぎカフェ

TAKE OUT OK!

MENU
オリジナルブレンドコーヒー (hot/ice) ¥250
カフェラテ (hot/ice) ¥260
横ソーダ ¥260
マンゴーオレンジジュース ¥320
クッキー各種 ¥180 etc...

大分市役所 大分銀行 大分合同新聞社 県庁
JR大分駅 Wi-Fiつかえます

honeycomb cafe
大分市府内町3丁目8-8
(大分合同新聞社ビルハニカムプラザ1F)
営業時間/月~金 8:30~17:00
大分合同新聞社

大分合同エデュカル 教育文化事業本部
4歳~15歳まで
こども書育(硬筆・毛筆)
正しい持ち方筆順、適度な筆圧、美しい文字

書写力には、技術力はもとより思考力、集中力、持続力とお子様の成長に必要な不可欠な大切な要素が含まれており、この3大要素を書くことにより引き出し、実らせるかを軸に技術の指導を行います。毛筆は基本の点画の基礎をしっかり学びます。習いはじめの一步の大切さを体験しませんか。

講師 今井 清美氏(大分県書写指導者連合会 理事)
日時 木曜日(月4回) 15:45~17:15
入会金 3,300円(税込) 月謝 硬筆・毛筆 5,500円(税込)
硬筆のみ 各3,300円(税込) 毛筆のみ
会場 大分合同新聞社 別館1階(大分市府内町3-9-15)

無料体験実施中 (要予約)

大分合同エデュカル 教育文化事業本部 (大分市府内町3-9-15)
097-538-9664 (午後1時~5時/月・日・祝日除く) http://www.godobunka-c.jp

honeycomb cafe

大分市役所 大分銀行 大分合同新聞社 県庁
JR大分駅 Wi-Fiつかえます

honeycomb cafe
大分市府内町3丁目8-8
(大分合同新聞社ビルハニカムプラザ1F)
営業時間/月~金 8:30~17:00
大分合同新聞社